



きょうの紙面



桃の節句蒸し
パン 6面



3面

サワラちゃんです

くれよんきんぐ 4・5面
発表! 2月の作品
列車に乗ろうよ! 8面
養老鉄道

三つの提案

あつという間に1年がたちました。1年間コラムを読んで、安全保障や軍縮、人道問題、気候変動や差別の問題などたくさんさんの難しいことを私と一緒に考えてくれて、ありがとうございます。1回目のコラムに、21世紀の世界は地球規模でさまざまなことが起こる「地球時代」に入ったと書きました。新型コロナウイルスはまさにそう。世界のどこかで始まった問題が、瞬間に身近な問題になるのが地球時代。これから1年がたちますが、地球時代の難しい課題に取り組み、地球をより良いところにするための秘けつは何でしょうか? 私は世界の問題も、ごく身近な家庭や学校、社会の取り組みから変えていけるといつも思っています。みんながい

ろいろなことを考えて取り組

中満泉さんから
地球を変える
あなたへ 12



◇中満泉さん「国連事務次長」 1963年生まれ。アメリカの大学院を経て89年に国連入り。難民保護や国連平和維持活動、核兵器禁止条約の採択などのために働いてきた。著書に児童書「危機の現場に立つ」など。

内山節さん

パトリック・ハーランさん

池上彰さん

身近なことから

新型コロナウイルスもそうで

球時代。これからしばらく、世界は協力してこのウイルスと闘わないといけない。感染データーをきちんと公表し、研究成果を共有しながら、冷静に協力するのが重要。そして最も被害を受けやすい、立場の弱い人たちのことを考え、支援しなければなりません。そうすれば私たちの世界はどんな危機にも対応できると信じています。

対話と
勇気と
信念を

むことが積み重なり、地域や国、そして地球レベルの努力によって結果としていくから。みなさんはこれからの地球の担い手ですから、この地球を良くしていくために私が大切だと思っている、三つのことを提案したいと思います。どれも一人一人が、学校やコミュニティでできることです。

まず、いろいろな人の話を聞き、話し合うこと。特に自分と異なる意見の人の話こそしっかりと聞くことです。私は長

たらずことができるからです。2番目は、勇気を持つこと。何だかおかしいと感じたら「どうして「おかしいんじゃない?」と声に出す勇気です。私が勇気について学んだのは小学校3年生の時でした。クラスの男の子がおなかをこわしていたので、教室で大便を漏らしてしまっただけです。クラスメイトがはやしたて、ものを投げつける中、少し巻き毛のショートカットの女の子が「大丈夫だよ、さ、行こうね」と声をかけ

は経験から痛感しています。そんななどせず、おかしいことには声をあげ、それぞれの場を力に合わせて正しいことをする。みなさんが勇気を出して声をあげ、仲間と連携していけば、いじめをなくしていくこともできるのではないのでしょうか。

理想と希望で連帯

教室からずっと連れ出ししました。その場に凍りついて何も言えなかった私は、今でも女の子の顔や名前まではっきり覚えています。普段はとてもおとなしいその子に勇気がどういうものかを教わりました。仕事を始めてからは、戦死したムスリムの友人の妻と子どもを、命をかけてまで自宅にかくまったクロアチア系の男性や、自らの過酷な被爆体験を語ることで核廃絶運動に参加する被爆者の勇気を目の当たりにしてきました。そういう、いろいろな勇気が世の中を変えていくのだと私

は経験から痛感しています。そんななどせず、おかしいことには声をあげ、それぞれの場を力に合わせて正しいことをする。みなさんが勇気を出して声をあげ、仲間と連携していけば、いじめをなくしていくこともできるのではないのでしょうか。



地球温暖化の対策強化を求めるデモ。一人一人の声が、世界を変えていきます—東京都渋谷区で2019年3月

教室からずっと連れ出ししました。その場に凍りついて何も言えなかった私は、今でも女の子の顔や名前まではっきり覚えています。普段はとてもおとなしいその子に勇気がどういうものかを教わりました。仕事を始めてからは、戦死したムスリムの友人の妻と子どもを、命をかけてまで自宅にかくまったクロアチア系の男性や、自らの過酷な被爆体験を語ることで核廃絶運動に参加する被爆者の勇気を目の当たりにしてきました。そういう、いろいろな勇気が世の中を変えていくのだと私

中満さんのコラムは、新年度から第5日曜日に掲載します。次回は5月31日です。